



## De Kat ペイントミル

1956年ミル大工の G Husslage は De Kat オイルミルの下部倉庫ベースに De Duijager ペイントミルの上部および駆動機構を建設しました。1780年くらいまでさかのぼる2つの古いミルの跡地は De Kat ペイントミルとして新しく生まれ変わりました。アンティークペイントおよびダイの生産および販売は約10年前に再開しました。



このミルはおそらく世界で最後に残ったペイント水車です。

55のミルで始まりましたが、Pieter Schoen、Storm、Van Bentum および Kluyver、Heyme Vis、Kuyper、Pieter Latenstein Pz、Avis などの有名な名前が統合されました。過去をを彩りました。



## DE ZAANSCH E MOLEN

Zaan 地区を世界で最も古い産業地域に変えたほぼ1000の水車のうち、1920年頃にはわずか50だけが残りました。

これらを後世に保存するために、オランダ水車協会 (Vereniging De Zaanse Molen) が1925年3月17日に設立され、現在では13の産業用ミルが、最適な状態に保たれ定期的に動いています。

1928年にこの協会はユニークな水車博物館を設立しました。訪れる価値は十分あります。(産業用) ミルの操業および歴史に関して知りたいことをすべて網羅しています。また臨時の展示が定期的におこなわれています。

[www.zaanschemolen.nl](http://www.zaanschemolen.nl) をご覧ください。



*For all information about our mills and mill museum, opening hours, group visits and entrance fees:*

[www.zaanschemolen.nl](http://www.zaanschemolen.nl)

## De Kat ペイントミル

Kalverringdijk 29, Zaanse Schans, 1509 BT Zaandam  
電話 +31 (0)75 6210477, ファクス+31 (0)75 6570550



# DE KAT

Kalverringdijk, Zaanse Schans,  
Zaandam  
にあるペイントミル

## Anno 1782

De Kat へようこそ！  
ご自身の責任においてこの水車をご覧ください。  
喫煙しない、バリアに上らない、  
リードを引っ張らなければ特にありがたいです。  
ご協力ありがとうございます！

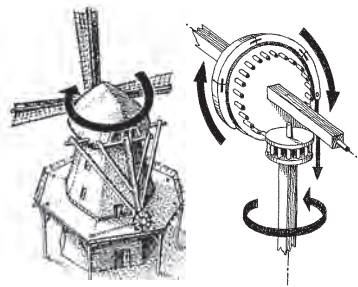


## DE ZAANSCH E MOLEN



Japans

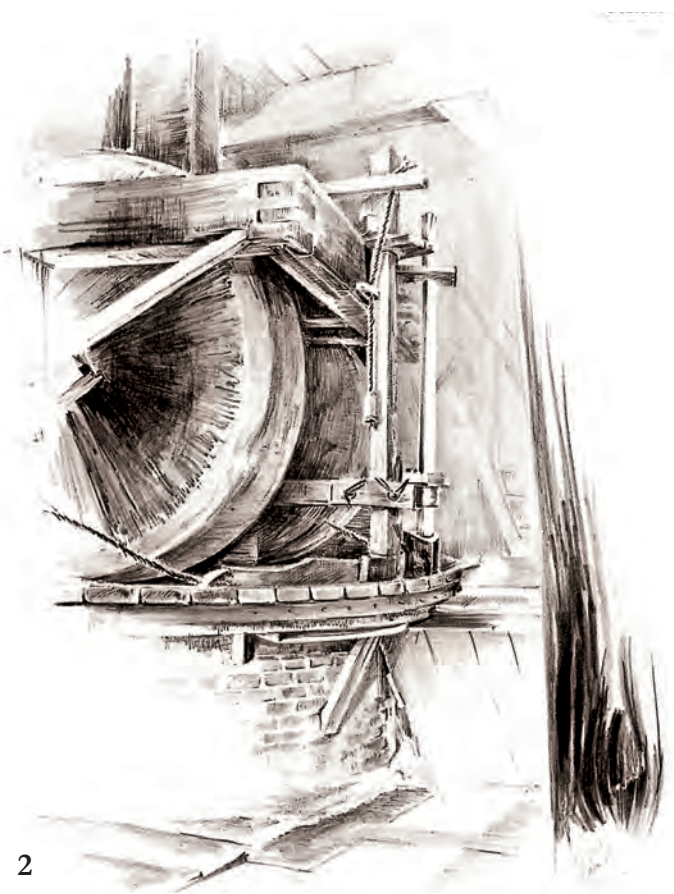




このミルはキャップワインダー  
です。  
羽根が付いたキャップがテール  
ビームの下にあるキャプスタン  
ホイールを使用して風で回り  
ます。  
羽根の回転水平運動はミルの底  
部にあるツールを駆動する上部  
ホイールおよび上部クラウンホ  
イールを使用して垂直方向の回  
転運動に切り替えます。  
ミルを停止するための木製のブ  
レーキは上部ホイールに配置さ  
れています。

## ペイントミルはライフカラー を提供しました

図面：Hinne Terpstra



2



1

### De Zaan

話は、ここから角を曲がってすぐの外側から始まります。そこ  
に沿って Zaan 川が流れており、川沿いに住民が1600年頃最  
初の水車を立てて、交易や漁業で豊かになりました。  
最初、風は足を乾燥するために使用され、その後全産業がそれ  
を利用して成長しました。大麦、米、木材、食用油、マスター  
ド、タバコ、大麻など多くが Zaan の1000の水車で加工され  
ました。  
1850年以降、蒸気機関が水車にとって変わりました。13の水  
車のみがビジネスおよびテクノロジーに対するモニュメントと  
して残りました。

### 風

風はミルを稼動 (ま  
たは時々停止)する  
ためのエネルギー源  
としては非常に気ま  
ぐれで、どちらもで  
きないことがあります  
が、ミルなしでは  
15トンのキャップ  
で羽根を向けられま  
せん。  
ミルの速度を羽根お  
よび板でコントロール  
もします。



3

### 色

色、またはむしろダイはこのミルの産物です。  
1600年以降、熱帯染料木が生地の染色用に大量に輸入され  
ました。  
染料木の大きな塊がのみで大きなタブに刻まれました。  
バークチップが重さ 5000~7000kg (図面番号 2) の回転  
エッジランナーで粉末に砕かれ、回転ドラム (バッグ) で固  
められます。袋または樽 (図面番号 3) に詰められてお客様  
に納品されます。  
ほんの1700年前にミルは顔料、チョークおよび粉末の取り  
扱いを始めました。  
採石場から切り出された濡れた石は最初倉庫で乾かす必要が  
ありました (図面番号 4)。  
たとえば、ペイントはペインターが色が付いた粉をこすって  
リンシード・オイルに入れて開発されました。



4